



令和6・7年度 港区教育員会研究奨励園

中之町幼稚園だより

令和7年11月号
港区立中之町幼稚園
園長 酒井 正美

先日の運動会では、ご参観、ご参加をありがとうございました。



日常的にも使用させていただいている、赤坂中学校の広い体育館をお借りして、子供たちがのびのびと活動する姿を見ていただくことが

できました。保護者の皆様からは、「年長組のパラバルーンやりレーに感動しました。」「一人ひとりが自信を持って頑張る姿に感動しました。」「親のための運動会ではなく、子どもにとってのかけがえない成長機会としっかりと位置づけている子どものための運動会が、大変素晴らしいと思いました。」

「子どもの楽しそうな笑顔が見られて嬉しかったです。」などの感想をいただきました。参観場所の譲り合いがあり見やすかったという感想も多くいただきました。今後、参観者の人数が増えることへの工夫は必要かと思いますが、保護者の皆様にご協力いただいたこと、子供たちへの温かな眼差しに感謝申し上げます。

中之町幼稚園では、運動会当日、また、それまでの取り組みの中で見られたような「楽しんで」「夢中になって」という姿をととても大切にしています。幼児が「やってみたい」「楽しい」「もっとやりたい」と自発的な遊びとして取り組む中では、多様な動き、身体感覚の育成などを通して「知識、技能の基礎」が育まれます。試す、工夫する、自分なりの表現をすることなどを通して「思考力、判断力、表現力等の基礎」が育まれます。葛藤、やり遂げた満足感、自信、友達との楽しさの共有や協力などを通して「学びに向かう力、人間性等」が育まれます。

大人からの「できる」「できない」という評価が先行すると、「できないからやらない」と幼児の挑戦する気持ち、自発的な動きを奪ってしまうことがあります。のびのびと安心して挑戦することを見守り、自分で考え行動する時間を保障し、子供が失敗することを大人が恐れず、繰り返し体験を通して学ぶ豊かな生活を支えていきたいものです。

本格的に寒くなる前のこの時期、3学年が関わり合う工夫をしながら、戸外遊びを十分に楽しんでいきたいと思えます。